

「第3回なすかしの森ファミリーチャレンジ

～思いっきり雪遊び！家族の絆を深めよう～！」報告

実施日：令和2年2月1日（土）～2月2日（日）

【目的・趣旨】

幼少期から中学生期までの体験が多い高校生ほど、思いやり、やる気、人間関係能力等の資質・能力が高いことや、体験が豊富な子供ほど読む本の冊数が多いという割合が高いこと等が、調査研究において明らかになっている。このような調査研究を踏まえ、当施設では、幼児・小学生・中学生を含む家族を対象に、体験活動を通して親子の絆を深めつつ、今日的な課題への意識付けを行いながら、利用者が「参加して良かった。また参加したい」と思えるようなプログラムを提供する。令和元年度第3回目は、那須甲子の自然環境を活かしながら、雪の活動や日本の伝統文化の体験を通して、家族の絆を深める。



【連携先】

佐藤店長・矢吹さん：恵方巻の指導・アドバイス
法人ボランティア（1名）：プログラム補助
教育実習生（3名）：プログラム補助

【募集対象／実績】

《募集対象》幼児または小・中学生の子供を含む家族 20家族80名程度

《実績》23家族81名申込み、17家族61名参加

【プログラム概要】

【1日目】令和2年2月1日（土） 天候：曇り

12：30～13：30 受付 [正面玄関]

13：30～14：00 出合いのつどい [キビタ]

14：00～16：00 スノーシュー体験・ポイントOL・雪遊び [ピロティ集合→ハンディロード]

- ・家族の形態が様々だったため、事前にスノーシュー体験とポイントOLのどちらを行うか聞いておいた。ニーズにあった活動を選択することができた。雪が少なく、ハンディロードで行ったが場所的にはよかった。
- ・ポイントOLは、コースを狭めた形で行った。幼児も多く、難易度・時間的に良かった。雪遊びに移行しやすいようにスコップ・バケツを持たせるとよかった。
- ・スノーシュー体験は希望人数が多かった。そのため、装着に時間がかかった。雪の量は十分であったが、個人差もあり、列が長くなり、指示が通りにくく、2コースあってもよかった。
- ・全体で雪遊びを行った。タワーや家・お店などを作ったり、雪合戦を行ったりして、喜んで活動していた。雪上運動会の備品など遊べる道具を用意し、みんなで遊べる企画があると交流が深まると感じた。最後のころは、寒くて体が冷えるため、控室のキビタに帰って休む家族が多かったが、時間的に余裕があり、着替えや片付けもスムーズにできた。

17:00～17:15 タベのつどい [プレイホール]

17:20～18:00 夕食 [レストラン]

19:30～20:00 ミニキャンプファイアー [プレイホール]

・ボランティアに活躍の場を設けるに前日にゲームの内容を考えてもらった。本番では、ゲームやダンスを中心に4つの活動を行った。時間的にもちょうどよかった。

20:00～20:45 入浴 [大浴場・中浴場]

21:00～21:30 自由時間・鬼の面作り(キビタルーム)

・雪が少ないため、明日、外で豆まき大会行うことにした。鬼のお面を作りたいという希望者のために会場を提供した。前日に鬼のお面のサンプルや作り方の説明書を用意していたが、予想をはるかに超える人数が参加し、大繁盛であった。

22:00～ 就寝 [宿泊室]

【2日目】令和元年2月1日(日) 天候：曇り

06:30～ 起床 [宿泊室]

07:00～07:15 朝のつどい [プレイホール]

07:20～08:00 朝食 [レストラン]

09:00～10:45 豆まき大会とそり遊び・雪遊び [ピロティ集合→わんぱく広場]

・節分にちなんで、外で豆まき大会を行った。ボランティア4名と鬼の面を作った児童(希望者)が鬼となり、縦横自由に走り回って豆まきを元気に行うことができた。

・「何とかそり滑りをしたい。」という希望が多く、わんぱく広場を斜めに使って安全に気を付けながら実施した。アイスバンになっている所もあったが、歓声を上げながら楽しく活動していた。回数を重ねるたびに、止まり方が上手になり、上達の跡が見られた。

10:45～12:30 恵方巻体験

・17家族を8グループに分か、協力しながら、恵方巻作りを行った。プログラムの最初の時間を使って、あらためて「恵方巻」の由来や意味を学生ボランティアに発表してもらい、参加者へ節分・恵方巻きについての理解を深めた。

・矢吹さんによる恵方巻の実演が好評であった。普段、家庭では体験することができないことに挑戦し、全員が完食するほどおいしくできたため、大変満足していた。片付けもスムーズで早めに終わることができた。前日の活動や宿泊部屋を加味して、グループ分けをすると、他の家族との交流がより盛んになったと思う。

12:30～13:15 別れのつどい [エコルーム2]

・時間に余裕があったため、全家庭に2日間を振り返ってどのように感じたかを発表してもらった。雪が少なく、活動の内容や場所の変更もあったが、「そり滑りができてよかった。」「思った以上に恵方巻がおいしかった。」「楽しかった。また来たい」と言ってくれてよかった。当事業のテーマ「利用者が「参加して良かった。また参加したい」と思えるようなプログラムを提供する。」を達成することができた。

13:30～ 解散

【成果】

佐藤店長・矢吹さんに依頼し事業開催までに事前打合せや試作を3回実施し、準備段階から連携を図った。

<第1回>佐藤店長と恵方巻の具材の確認をし、作り方(コツ)をアドバイスしてもらった。

<第2回>矢吹さんに1度恵方巻を作ってもらった、佐藤店長・矢吹さんにアドバイスをもらいながら、恵方巻の試作をした。

<第3回>佐藤店長・チーフに恵方巻の具材の量を聞いた。グループごとに分ける分量や具材の切

り方等のアドバイスをいただいた。
全3回の打合せを通して事業当日だけではなく事前準備やプログラムの企画段階から携わってもらった。

<参加者のコメント>

「初めて恵方巻を作った。とても貴重な経験となった。」

「思っていた以上に簡単にできた。味もおいしい。」

「恵方巻が楽しかった。また来たい」

【課題と方策】

楽しかったが、雪が少なく少し残念という声もあった。冬の事業の場合、悪天候だけでなく、雪のないことも想定し、プログラムを考えていく必要がある。今回、家族の絆は深まったが、他の家族と交流を図る内容をもっと入れるとよりよい事業になると感じた。

国立那須甲子青少年自然の家 [作成] 事業推進係：江口 俊文

野外での豆まき大会



はじめての恵方巻き体験



鬼のお面作り



ミニキャンプファイヤー



スノーシュー体験と雪遊び

